



東風

横浜市立綱島東小学校

【よりよいものを目ざし、皆で知恵を出し合おう】

校長 三橋 国雄

11月は学校全体が関わる大きな行事として「イーストスポーツ2020」が行われました。11月の学校だよりでは練習の様子をお伝えしましたが、12月の学校だよりでは閉会式で子ども達に話をしたことなどをお伝えします。

《1年生 演技ソイヤ》 クラスカラーのうちわを持って、大きな声で掛け声のソイヤをみんなまで合わせて、元気に踊ることができました。

《2年生 なかまとえがおでDANCE!》 リズムよく跳ねたり、体を動かしたり、全身を使い楽しくダンスをすることができていました。元気よく跳ねると自然と笑顔になります。

《3年生 鳴子による表現》 鳴子を両手に持ち大きく腕を回したり、スナップをきかせたりして鳴子から出る音色に変化を与えました。腕を曲げる、伸ばすのメリハリを利かせて、きびきびした表現をすることが出来ました。

《4年生 嵐を呼ぶエイサー》 パーランクーの音が響き、学年みんなで一つの大きな音になり、まさに嵐を呼ぶことが出来ました。パーランクーのばちを使ってのポーズは、みんなの向きがしっかり同じになっていて迫力を感じました。

《5年生 綱島東ソーラン「轟」》 6年生から教えてもらい、綱島東小の伝統を受け継ぎ演技をしてくれました。イースポの初日、一番初めで緊張もあったかもしれませんが、自信をもって声を合わせ、素晴らしい演技を見せてくれました。

《6年生 綱島東ソーラン「轟」心を一つに》 力強い思いと熱い心が全員から伝わってくるそんな演技でした。3日間で一番寒い日だったのですが、それを感じさせない迫力がありました。素晴らしくて見ていて鳥肌が立ちました。

「今年は普通の運動会ができませんでした。でもイースポがあります。」ということ、どの学年も代表児童の言葉で話をしていました。教職員も運動会をやらないのではなく、この条件の中でどのようにしてやろうか悩みました。

1年生は初めての運動会、6年生は小学校の最後の運動会、それぞれの学年もその学年で経験する1回きりの運動会。それを実施するために、でもコロナの感染防止のことも考えなくてはなりません。皆で一生懸命考えました。知恵を出し合いました。そしてそれぞれの学年に応じて子ども達とも相談して、学年の内容も決めました。どの学年の発表もその学年に合った内容で見ていて笑顔になりました。素敵でした。

来年の運動会はどうなるか今は分かりません。でもどのような形になっても今年の経験があれば何でも工夫してできることを感じさせてくれたイースポでした。

（当日の各学年の写真をHPにアップしました）

また、イースポが成功するように、保護者の皆様には、たくさんの我慢とご協力をいただきました。子ども達と保護者の皆様と教職員の気持ちが合わさった素敵な3日間になりました。ありがとうございました。

12月4日（金）から10日（木）までの1週間は、人権週間として、日本だけではなく世界中の人たちと人権について考える週間です。綱島東小でも12月8日（火）からの約2週間は学校での人権週間とし、それぞれの学年に応じたためあてを決め『誰もが安心して心豊かに生活できるために』一人ひとりができること、学級でできること、学校でできることなどを話し合います。ご家庭でも、いじめのない世界にするために、『誰もが安心して心豊かに生活できるために』子ども達と話をさせていただき、何か一つ家庭で取り組むことを決めていただければと思います。

例えば毎日必ず「あいさつをしよう」などのように、自分の気持ちを相手に伝える試みを、そして無理なく続けられることを考えてみてください。みんなが笑顔になれるように。よろしくお祈りします。